

認知機能低下を呈する患者さん並びにご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

恒心会おぐら病院リハビリテーション部では、以下の臨床研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。

このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、日々の臨床活動で実施しております。

この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は主治医へご連絡下さい。

**【研究課題名】** 認知症の症状への作業療法の効果について

**【研究代表者】** リハビリテーション部 福田 秀文

**【研究の目的】** 認知症の症状には「認知機能低下」と「行動・心理症状」があります。急な入院により、周囲の環境や人間関係が変化することで、認知症の症状が悪化することが考えられます。作業療法士は認知症の症状に対してあらゆる手段を検討し、入院期間中安心して生活できるように介入していきます。作業療法士が介入することで、認知症の症状にどのような変化があるか研究することで、作業療法の方法の再検討や患者満足度に繋げていきます。

**【研究の方法】**

認知症の症状を有す患者さん

**【個人情報の取り扱い】**

名前、住所など個人が特定できる情報は、厳重に管理し個人特定ができない状態で保管します。なお、研究成果の学会発表や研修報告の際は個人の同定ができないように配慮します。

対象となる方の選定等については恒心会おぐら病院臨床研究倫理委員会の審査を経て、その承諾事項を遵守して実行します。

**【研究の参加を希望されない方へ】**

この研究への参加(データ提供)を希望されない場合は、主治医へ申し出てください。